

二期目の現在は、まちづくりの素地を整え、財政規律を堅持しながら、新市のまちづくりを本格始動させる舵取りだと考えています。22年度から、新たな発展に向けて、総合計画に掲げてある各施策を着実に実行していき、市民の皆様へ合併効果を実感していただけるような地域活性化戦略を展開してまいります。そのために、総合計画の進捗管理を確実にいき、約800ある事務事業について、今まで以上に事業実施の「選択と集中」を加速したいと考えています。これからの地方自治は、知恵と工夫による地域経営の時代と考えます。事前統制であります「予算重視」から事後評価の「決算重視」へ意識を変革する必要性も感じています。これまでは、「事業をどのように実施していくのか」に重点を置いていましたが、今後は、「事業を実施してどのような成果が出たのか」にも着目していきたいと考えています。

本市のあらゆる資源や魅力を十分活かしながら、職員と一丸となって、山陽小野田市の「住み良さ」に更に磨きをかけたいと思っています。市民の皆様におかれましても、本年が幸多い年になりますよう心からお祈りいたしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。

2010年1月1日

市長 白平博文

